

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	幾何的トポロジーと写像の特異点論の革新的研究
研究代表者	佐伯 修 (九州大学・マス・フォア・インダストリ研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、具体的な構成的手法により低次元のトポロジーで大きな成果を上げてきた研究者である。本研究は、ゲージ理論から発展した解析的な手法を融合させることにより、トポロジーと特異点論の革新を図るにとどまらず、諸科学分野への応用により新研究領域の創成を目指す意欲的なものである。次世代のカタストロフィー理論の創出により、本格的な応用が期待される。</p> <p>国内の有力研究者の協力による計画であり、大きな研究成果が期待できる。また、応募者のリーダーシップによる研究の目標に向けた組織的な研究活動が期待される。</p> <p>本研究は日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>